



Fujimi_3_Haizara-Cho(Rinzo_Shimizu)

2008-03-31

市ヶ谷で電車の中から見た桜、孫の初ショット！

帰りに秋葉原を通ってきた。

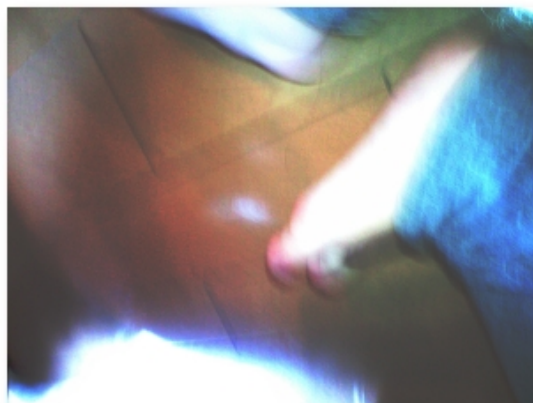
このごろのコースはラジオ会館の、コイズミ無線（スピーカーなど）、トモカ（音響機器）、パソコン関係は抜いて、末広町駅前の若松通商。

市ヶ谷駅に止まる電車から撮った桜。



+

昨日、ちょっと孫と遊んだが、ぼくの携帯で2枚ほど写真を撮ってしまった。1枚は単色なので、形のあるもう1枚。せっかくなのでちょっと芸術的效果をつけてみた。



孫は携帯電話が好きなようである。今日、妻が携帯電話のおもちゃを買ってきた。最近のおもちゃはとてもよくできている。

21:52:58 - belle - 2 comments

2008-03-30

Navigation

[Previous 月](#)

[Next 月](#)

[Today](#)

[Archives](#)

[Admin Area](#)

Categories

[All](#)

[General](#)

[新しいカテゴリ1](#)

[新しいカテゴリ2](#)

[新しいカテゴリ3](#)

灰皿町の本

●[幻想小説『なめくじキーホルダー』](#) [清水鱗造](#)

●[「週刊読書人」詩時評 一九九二-一九九三年](#) [清水鱗造批評集 第二分冊](#)

Search

今年はさくらんぼの花が多い

バッハ全集は15枚目ぐらいのフルートソナタを聴き、リュートのソロにさしかかった。

フルートソナタも聞き覚えのある部分があった。全部をまともに聴いているわけでもないが、聴いているとなんとか気分が変わる。

今日は午後から花曇りから小雨。捨てようと思っていたリサイクルショップで買った2000円のスピーカーを分解して、木の部分を小鳥の巣箱にしようとノコギリで切りはじめたが、正確に直角に切るのがいかに難しいかわかった。こういう正確さを要するものはやはり東急ハンズなどの業者に任せるしかないようだ。じっくりとやれば、やすりなどを使ってできないこともないが時間の無駄のような気がする。

今年はさくらんぼの花が多く咲いた。



小雨のなかのカラス。この時期、営巣するのか活発である。餌などをあたえると生態系がくずれるので、やりたくても我慢。



Login

ログインID:

パスワード:

☐ このPCを他の人と共用する

ログイン

Powered by



21:43:38 - belle - No comments

2008-03-29

FOSTEXのバックロードホーン用スピーカー、軽飛行機

作ったスピーカーはだいぶエイジングが進んだようで、さらにいい音になったように思う。

毎年1台ずつパソコンを作ってきたが、すでに5台たまっているので、今年はちょっと道草をしてオーディオ機器製作（勘で^^）を多少やろうと思う。この5台はすべてwebサーバとして使える。HDDと各種ファン、電源ユニットなどに気づかえば、次の5年はまったく大丈夫だと思う。ただし、パソコン自作は趣味でやっているの

で、来年は作るかもしれない。
スピーカーはFOSTEXのバックロードホーン向けシリーズ「シグマ」を使おうと、16センチフルレンジを考えたがこれだとちょっと大きすぎるオーディオマニア向けのスピーカーになり、置き場所に困ることがわかった。そこで10センチフルレンジを使い、今度のより多少大きいスピーカーにしようと思う。

[FOSTEX FEシグマシリーズ/製品情報・詳細](#)にシグマシリーズが出ている。これに、たまに限定発売ですぐ売り切れてしまうユニットが加わるが、バックロードホーンスピーカーを作るなら、このシリーズが最適のようだ。

現在の8センチフルレンジのバックロードホーンスピーカーも、ぼくが過去に使ったステレオなどくらべものにならないくらいいい音が出るが、1台真空管アンプを作って、自分の部屋でも聴けるようにしたいと思う。

†

午前、軽飛行機が旋回していたので写した。最後の写真は、ちょうどそのときにいたムクドリ。



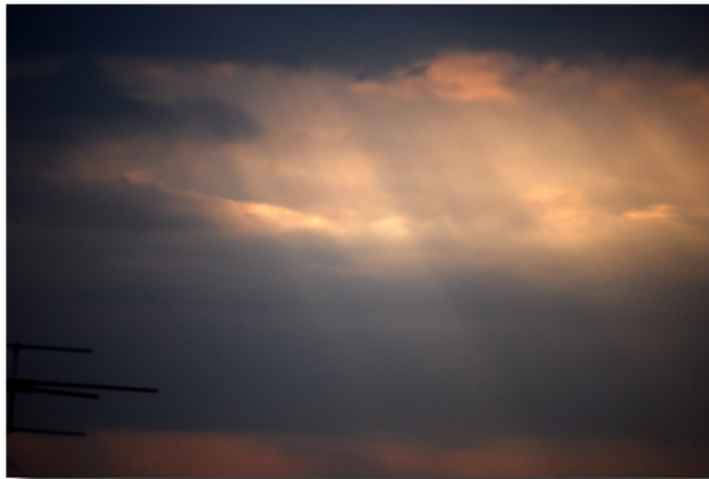


22:16:05 - belle - No comments

2008-03-28

空の変幻

今日は花曇りから午後は少し雨が降った。
ふと外を見るとヤコブの梯子が見えた。



22:29:08 - belle - No comments

2008-03-27

春の雲

東京では、桜が満開なのだそう。昨日、住宅地の間の草地に小さなしだれ桜が咲いているのを見かけたが、撮りそこなっている。
春霞でもなく東京タワーが見えている。
雲は春らしい感じ。



†

中原中也『在りし日の歌』の2回目の朗読を録音した。

[雨の日、春、春の日の歌、夏の夜、幼獣の歌、この小児、冬の日の記憶、秋の日](#)
である。

21:49:57 - belle - No comments

2008-03-26

木の根元のスミレ

今日は図書館に長岡鉄男のスピーカー設計図集の本を借りに行った。
スピーカーの設計図は、作るわけではないが地下鉄で眺めて楽しむのに適している。

バックロードホーン型のスピーカーは、とても複雑な大きなものや、たぶん木工では端金などたくさんないと作れないものが載っている。

非常に小さなバスレフ型スピーカーの設計図も載っている。アンプを机の上に置けば、そのままパソコンのCDプレーヤーから再生できる。

ついでにB.B.Kingとレイ・チャールス、シューベルトの交響曲のCDを借りてきた。
近所にあった木の根元にスミレが咲いている。



22:17:21 - belle - No comments

2008-03-25**桜の開花、ムスカリ**

近所の桜が咲きはじめた。このへんの住宅地の間の桜は、剪定しすぎているように感じる。
窓に日があたらなくなるからだろう。



あっというまにムスカリの鉢は花でいっぱいになる。



23:02:09 - belle - No comments

2008-03-24

ヒヤシンス、宮沢賢治『春と修羅第二集』の朗読を追加する
今日は、曇りだったが雨上がりで気持ちがいい。
昨日見かけたヒヤシンスの花。



†

宮沢賢治『春と修羅第二集』の朗読を追加した。

[「野馬がかってにこさえたみちと」](#)、[「うとうとするとひやりとくる」](#)、[郊外、命令](#)、[「その洋傘（かさ）だけでどうかなあ」](#)、[孤独と風童](#)である。

なお、「うとうとするとひやりとくる」という作品で、3行目の皺という字を[[ふへきしゅん]]という言葉に当たる別字の「しゅん=ここにはutf-8の文字コードでないため記さない」と読んだ。「ふへきしゅう」でもいいと思うが、原稿の写真版も皺か別字かはっきりとはわからない（写真が不鮮明なため?）。賢治は「皺」と書いた可能性が高い。「ふへきしゅん」と読んだのはこの作品の山水画の雰囲気 fittingsして違和感がないと思ったからである。

テキスト表記では上のgoogleで引ける「しゅん」の誤字の可能性があるので「皺」に「ママ」と印を付けたほうがいい可能性がある（たまたまそう思っただけで、いまのところの私見）。なお誤読は訂正できるので、気がついた方はお知らせくださると嬉しいです。

23:53:00 - belle - No comments

2008-03-23

さくらんぼの花

今日は91歳のおばさんのところに液晶テレビの設置の手伝いに行った。

2011年7月に地上波アナログはなくなり地上波デジタルになるという。20インチだかの大画面でないテレビだが、地上波デジタルはすいぶんくっきりと見える。BSテレビもすいぶんいろんなチャンネルがあって、テレビの時代も変わりつつあると思った。たしかLAN端子もついていたので、光ファイバ回線を引いていけばいろいろと便利なのだろう。

その後息子たちのところへ行って、孫ともしばし遊ぶ。

さくらんぼの花が咲いた。このさくらんぼは、食べながらプランタに向かって種を飛ばしていたものが芽生えて成長したものだ。



近所の花屋さん。花盛りだ。



22:51:57 - belle - No comments

2008-03-22

満月

今日はよく晴れた。

満月である。

撮り方を普通のautoにすると、光る玉にしか撮れないが、何気なしにマニュアルにしたらコペルニクスなどよく写った。



上の写真は、下の写真から一部を抜き出したもの。



22:07:29 - belle - 3 comments

2008-03-21

雲間の月、中原中也『在りし日の歌』の第1回の録音
満月のようなのである。月の面を雲が速く通りすぎていく。



バッハ全集はつまみ食いをやめて、CDの1枚目から聴きはじめた。ただ、いろいろと移動しているので、半分ぐらいしかちゃんと聴いていない。聞き覚えのあるメロディがときどき出てくる。一時、図書館で片っ端から借りて聴いたことがあるのと、意外に巷にバッハの音楽が流れているからだ。昨日から、外で3曲、耳にした。

†

中原中也『在りし日の歌』の録音を始めた。Shure SM58でやったが、途中でやはりポップガードが必要だなと思い、パイオニアのマイクのポップガードのスポンジを取って、付けた。

[『在りし日の歌』題名、献辞、小題（在りし日の歌）、含羞、むなしさ、夜更の雨、早春の風、月、青い瞳、三歳の記憶、六月の雨](#)

である。

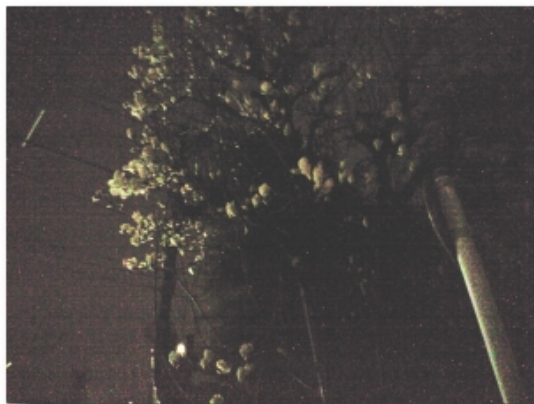
23:32:37 - belle - No comments

2008-03-20

夜の白木蓮、宮沢賢治『春と修羅第二集』の朗読を追加

今日は雨のうえ、風も強かった。夜になって、小雨になる。

夜の白木蓮を写す。The Gimpで明度とコントラストをだいぶ上げた。



[[スピーカーのエイジング]]がだいぶ進んできたような気がする。バックロードホーンという形式のスピーカーは「低音の抜けがいい」という。あまりよく知らないが、外の店なんかで鳴らしているスピーカーの低音より繊細な低音が出ている（気がする^^）。

†

宮沢賢治『春と修羅第二集』の朗読を追加した。

[「南のはてが」、昏い秋、産業組合連合会、〔夜の湿気と風がさびしくいりまじり〕、善鬼呪禁、ローマンス（断片）、凍雨](#)

である。使っているマイクロホンと、バンドのボーカリストがよく使っているというShure SM58の差はよくわからないが、ひと区切りついたら、Shure SM58で録音してみようと思う。

ラジオのページの見え方がFirefox（Iceweasel）とWindowsのIE7とでは違うことに気づいた。tableタグのせいだろうか。やはりCSSで左右のマージンをとったほうがいようだ。

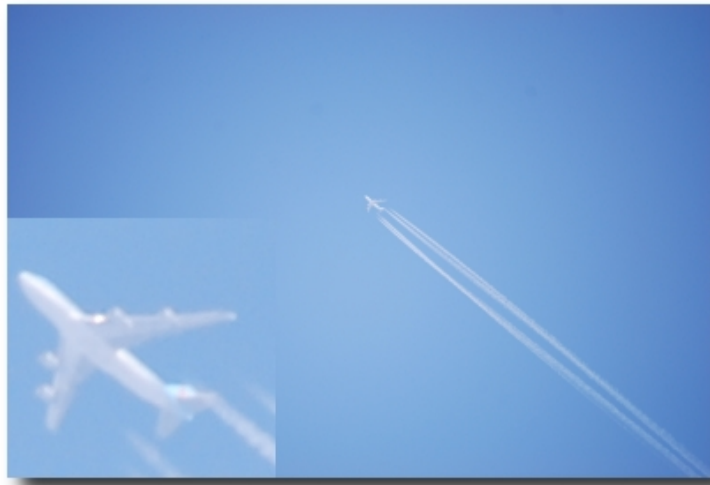
23:09:01 - belle - No comments

2008-03-19

小雨の日、写真の縮小

今日はしとしと雨だったが、暖かい。

このblogの写真は、たいてい撮ったままのを縮小している。下の写真はこの間の飛行機の写真の一部取り出して1枚にしてみた。



最近のデジカメや携帯電話のカメラは画素数は多すぎるので、Webでは縮小する必要がある。

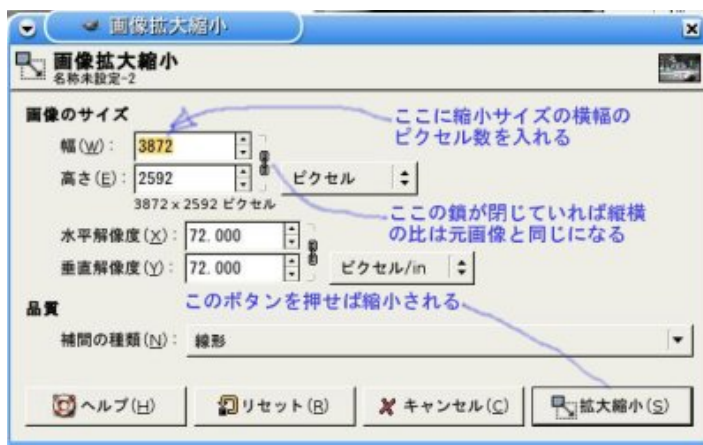
Photoshopなど使えばそれもいいが、GPLの[[The Gimp]]を使っている。

このblogでは幅300から400ピクセルに縮小して、「Script-Fu」のドロップシャドウで影を付けている。

blogで使う場合には、ポップアップ形式で載せられるものもあるが、blogの幅に合わせるのが簡便である。

縮小のやり方は一度覚えれば簡単である。

下はThe Gimpの画像の「縮小拡大」のときのウインドウである。



22:51:08 - belle - No comments

2008-03-18

渋谷、なんとなく景気のいいバッハ全集

帰り、渋谷の本屋さんに寄る。

Linux関係の本、雑誌などをざっと見るが目新しいものはない。



バッハ全集は毎日1、2枚聴いているが、これだけCDが入っているとなんとなく景気がいい。



22:47:07 - belle - No comments

2008-03-17**コブシの花盛り**

駅までの道で、毎年コブシの花を咲かせる家がある。
今日も暖かい。



Asus EeePCとともに[[gPC]]という199ドルパソコンがLinuxのプレインストールで出ていて（日本でのEeePCの仕様はLinuxはない）、多少話題になっているようだ。gPCはどんな姿かな、と見てみるとあまり写真が載っていない。モニタは別売りらしい。日本語キーボードを使っていないだろうし、爆発的に売れた外国と違って、あまり人気が出なさそう。

22:44:47 - belle - 2 comments

2008-03-16**ソラマメの花**

今日もいい天気で、みんなで公園に行く。
暖くなり、セーターも要らないくらいになってきた。
近所の畑で撮ったソラマメの花。



17,000円ぐらいの『バッハ全集』（ブリリアントレーベル）をAmazonで買ってし

まった。1枚100円台のCDのどれをとっても、すごい音楽が流れてくる。1枚だけCDケースサイズのPDF解説が収められたCD-ROMが付いていて、ドイツ語の歌詞も収録されている。

独和辞典がどこかに行ってしまった。和独は手元にあるのだが。そのうち買うかもしれない。

夜、たばこを買いに行った帰りにガマガエルをあやうく踏んづけそうになった。

22:57:24 - belle - No comments

2008-03-15

ムスカリ1輪

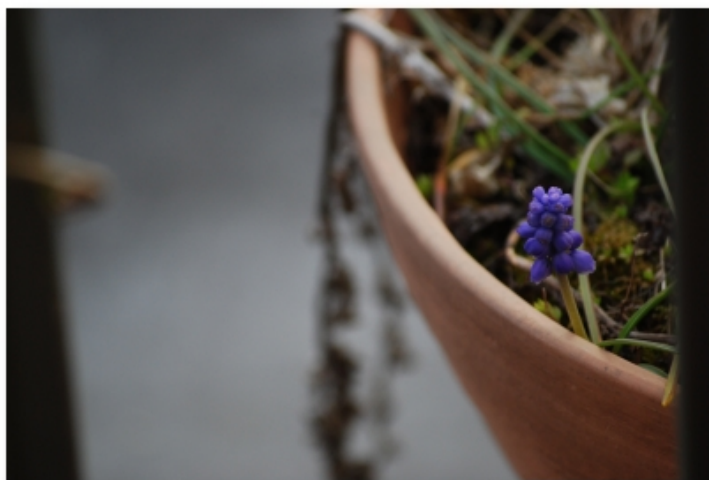
昨日は雨が降ったが、今日はよく晴れた。

朝の東の雲。



ムスカリが1輪、鉢のすみに咲いた。

すぐに花はこの鉢いっぱいになる。



23:59:00 - belle - No comments

2008-03-14

モーツァルト交響曲全集のレコードが出てきた。宮沢賢治『春と修羅第二集』朗読の録音

フォノプリアンプでレコードが聴けるようになったので、いろいろ見てみたら、モーツァルト交響曲全集が出てきた。

シベリウス交響曲全集もある。レコードの表面はきれいだが、やはりすこし「ポツッ」というような雑音が入る。レコードの管理は、静電気がほこりを寄せつけたり、いろいろ大変だが、懐かしいものもあるのでちょっと整理しておこうと思う。下の写真はモーツァルト交響曲全集。



†

宮沢賢治『春と修羅第二集』の朗読の続きを録音した。

[塚と風、〔かぜがくれば〕、秋と負債、〔落葉松の方陣は〕、〔しばらくぼうと西日に向ひ〕](#)

である。

23:48:00 - belle - No comments

2008-03-13

LPレコードを聴けるようにした

フォノプリアンプを買って、LPレコードを聴けるようにした。

15歳のときに買ったものなど聴けるようになる。ただ、だいぶ汚れているものが多い。写真の右に見えるのがオーディオテクニカの[[AT-PEQ3]]というフォノプリアンプである。

試しにマハビシュヌオーケストラの「Birds of Fire」をかけてみたら、ちょっとポツポツ雑音がする。



23:56:00 - belle - 2 comments

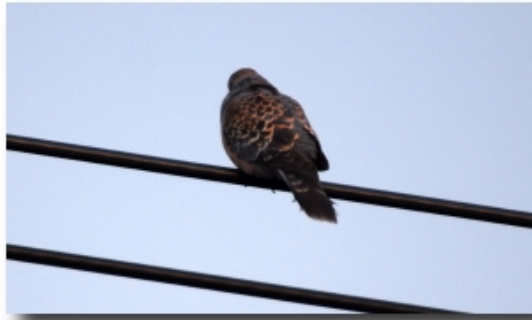
2008-03-12

春霞

ここから見える東京タワーがやや霞で見えにくくなりつつある。
デスクトップに外気の温度計が表示されているが（このデスクトップではなく
Windows Vistaのガジェット）、だいぶ暖かくなってきた。
望遠レンズで遠景を撮れば、春霞の感じが出るかなと思って撮ったら、気がつかなか
った変わった建物が写った。



ちょうど、このとき電線にキジバトがとまっていたので撮影。こころなしか、冬よ
りのんびりとしているように見える。



バッハのカンタータを少し聴きはじめたら、当たり前だがドイツ語で、意味がわからないとおもしろくない。辞書と首っぴきならなんとかわかるテキストがインターネットにありそうだが、まだ見つけてない。英訳はあった。

22:27:50 - belle - No comments

2008-03-11

梅も盛り

これは3日に撮った写真だが、数日たってさらに盛んに咲いている。コブシのつぼみもひろがりつつある。



インターネットでオーディオ機器について見ていると、とくにスピーカー自作は、1台作るとさらに「作る」ほうに興味が向かう人が多いようだ(^)。ぼくの場合も作りたくなってくるが、電子オルゴールや、フォノプリアンプ、木工のほうでは額縁や本を整理する簡単な箱、鳥の巣箱などを考えてしまう。しかし、前に聴いていたクラシック音楽を暇なときに聴いている。

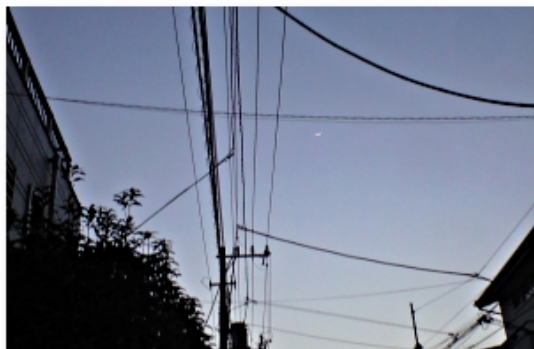
23:41:48 - belle - No comments

2008-03-10

夕方の三日月、宮沢賢治の朗読を録音する

今日も暖かい。春が進んでいるようだ。

日も長くなってきた。たばこを買いに行く道、西のほうに三日月が見えた。



†

宮沢賢治『春と修羅第二集』の朗読の続きを録音した。

[薙露青、〔北いっぱいの星ぞらに〕、早池峰山嶺、春、「春」変奏曲、風と杉、雲](#)
である。

23:09:23 - belle - 2 comments

2008-03-09

春めいた空

いつのまにか空が春めいている。



この冬はここ数年では久しぶりに季節のメリハリが感じられた。

スピーカーもよくなって、いろいろ音楽を聴きたくなくて、バッハをいろいろと聴きはじめた。

ただし、夜7時ぐらいまで。無伴奏チェロも演奏家によってずいぶん速さやとらえかたが違う。

スピーカーの塗装の延長で、部屋の白い塗料がはげた部分を塗る。紙やすりを使いながら重ね塗りをすることがおもしろい。

23:59:00 - belle - 8 comments

2008-03-08

スピーカユニットにグリルをつける、鳥の巣箱設計試案

猫のベルは眠るとき、ひとしきり甘えた後、ぼくの部屋の椅子のパンヤなどで爪とぎをしたり遊んでいるようだ。

スピーカユニットは、猫が好きそうな材質である。ふと、これで爪とぎをされたら困ると思った。

それで秋葉原に行くときにスピーカグリルを買ってきて、付けた。

秋葉原に行ったのは[[Asus Eee]]というミニパソコンについての記事がLinux Journalに載っていたので、興味を持ったからだ。行ってみると人気があるらしい。50,000円ぐらいだが、OSがWindows XPが入っていた。OSはいらないので3万円以内だと、外からサーバにアクセスする可能性がある場合、Linuxをインストールして手軽だな、と思う。でも5万円だと却下。直接、外国から購入すればだいぶ安そうな気がするが、買わないにしろ調べてみようと思った。

ちょっと春めいてきた秋葉原の夜。



スピーカグリル。これをスピーカの塗装の色に合わせて塗装したほうがいいかもしれない。



スピーカグリルを付けたところ。やはり黒だと印象が固くなる。

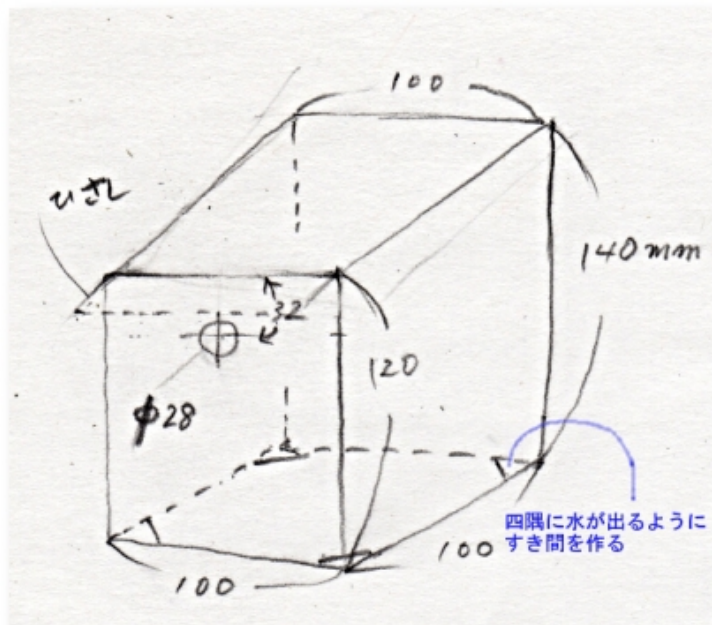


†

先日、インターネットで調べて設計試案を手帳に書いておいた鳥の巣箱。
せっかくなので10mmぐらいの厚い合板を使うとして、近所の金物屋で板を買って
くれればすぐできそう。

ただ、28mmの穴を開けるのがまた新しい道具が要る感じ。穴が28mm以上だとヒ
ヨドリなど大きい鳥が占領するという。

問題は、ベランダの防水工事を将来した場合、手すりとは一度はずされることだ。営
巣しない時期があるのならいいが。巣箱は手すりにステンレス製の針金で固定する
ことを想定する。



23:45:11 - belle - 2 comments

2008-03-07

ミモザの季節

昨夜、帰り道にミモザが盛んに咲いているのを見た。

毎年ミモザが咲く通りを今年は今の時期、不思議に通っていない。
玄関に切り花が生けられている。



†

「Linux Journal」の3月号が先日届いた。
「Desktop Must-Haves」という記事は、一般的に使われるLinuxデスクトップアプリケーションソフトを紹介した後、「Is this the Year of the Desktop for Linux? That's something history will decide, if it even cares. But, one thing is without doubt: Desktop Linux arrived.」と結ばれている。
ぼくの場合はいろいろとやってはいないが、オフィスソフトからビデオ編集まですでにできあがってきたという感じがする。
iTunesみたいな「[[Amarok]]」が紹介されていた。

[【レビュー】Linux/BSDで使える! iTunes型多目的オーディオプレーヤ「Amarok」](#)

23:35:59 - belle - 4 comments

2008-03-06

木工のアイデア

スピーカーを作ってから、合板で鳥の巣箱や、本棚に文庫本を入れる補助的な箱（現在はティッシュケースで代用）などいろいろ思いつく。
パソコン作りも体験でいろいろコツを知っていくが、木工も同じようなもののように

だ。
パソコンを作るにはプラスドライバ1本でほとんど道具は要らないが、木工の場合は塗装も含めていろいろと要る。かなり使う道具は省略して、今回使ったのは、

半田ごて

プラスドライバ

木工用ボンド

紙やすりと紙やすりをとめるもの（アイロンの小さいようなの?）

ラジオペンチ

水性ペンキを塗る前に塗る下塗り用シーラー

噴霧式水性ペンキ

ぐらいだった。ほんとうはさらに、

クランプ

ハタガネ

など圧着に必要なだ。

塗装も乾いたらやすりがけというのを覚えたので、部屋の部分的にはげたフローリ

ングや白い塗装がとれてきた部分など、うまく補修できそうだ。

23:58:00 - belle - 2 comments

2008-03-05

スピーカーができてあがる

塗装はいまいちだが、もっと細かい処理をしようと思えばすぐにできるところが自作スピーカーキャビネットのいいところだろう。

音を出すと、すごい！ いきなりこんなにいい音が出るとは思わなかった（注：こういう印象は、ほとんどオーディオ趣味がなかったのであまりいいスピーカーを使わなかったせいかもしれない）。バッハのチェンバロ協奏曲がバラエティのある音色に満ちているに驚いたりする。

エイジングといって、しばらく聞き続けるとさらにいい音に安定してくるという。スピーカーユニットは前に書いたように[[Fostex FE87E]]である。防磁型なので、テレビの左右に置いて大丈夫。色はテレビに合わせた。

2枚目の写真の後ろにある黒いスピーカー（リサイクルショップで2千円で買ったもの）は、そのうち処理するつもり。こうなってくると、もう一つ作りたくなってくる。夏ぐらいにもう一つ作ってみるか、と思う。



テレビの両側に置いたところ。



23:09:32 - belle - 3 comments

2008-03-04**スピーカーの塗装を始める**

スピーカーに下塗り用のシーラーというのを塗ってやすりがけをして、1回目のカラスプレーを噴霧した。

これが乾いたらやすりがけをして、さらにあと2回同じことを繰り返すので、たっぷり塗っておいた。



バックロードホーンという形式のスピーカーなので、下に穴が大きく開いているが、ここは塗装しないで木のままとするので養生した。

どうしようかと思っていたが、新聞紙を丸めて入れ、ガムテープで開口部の小口に張った。背部のターミナル部分もガムテープで保護した。

木工というのはほとんどやったことがなかったが、0.1mm単位で厳密さを要する。それに、製作の段階を慎重に踏んでいやでもゆっくりやる必要がある。気を長くもたないといけない仕事のようだ。

椅子など4脚をぴったり床にぐらつかずに製作することなど、とても難しく思える。

23:59:00 - belle - No comments

2008-03-03**ねぎ畑にいる鳥、スピーカー作製が進む**

昨日、ねぎ畑で見慣れない鳥を撮った。

ねぎ畑は好きなので通るとよく見ているが、何という鳥なのだろう。



†

ほんとうはこんなに速く作ってはいけないようだが、あとは塗装、ユニットの取り付けというところまでやってしまった。上にのせてあるのはデスクトップパソコン。



23:54:41 - belle - 4 comments

2008-03-02

午後太陽にかかった量、宮沢賢治朗読を追加する

サーバのグラフィックカードをnVidia 8600GTに替えて、多少部屋のノイズが多くなったかな、と思って測定したら前と同じぐらいだった。
午後、金物屋かホームセンター（インターネットで検索したら近くにあることがわかった）に行こうとしたら、日曜は休み。歩いていたら、太陽に暈がかかっていたので携帯のカメラで撮る。



†

宮沢賢治の『春と修羅第二集』の朗読を録音、追加する。

[垂細垂学者の散策、〔温く含んだ南の風が〕、〔この森を通りぬければ〕、〔ほほじろは鼓のかたちひるがえし〕、〔北上川はけい気をながし〕](#)

である。「宮沢賢治全作品朗読」のページは文字コードがUTF-8だが、ここはEUC_JPなので、題の「けい気」のけいをひらがなにしておく。

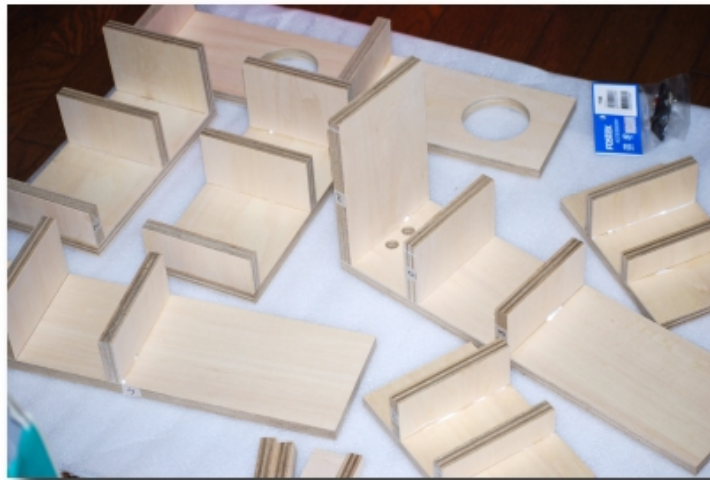
21:34:48 - belle - 3 comments

2008-03-01

スピーカーキャビネットを作り始める

スピーカーキャビネットを作りはじめた。

4つの部分に分けて、今日はこのへんまで。



板は0.5mmの誤差もなく切られていて、切断面も平ら。
釘はうたなくても木工用ボンドで強度は十分ということなので、ここまで進んだ。
外側にはみだしたボンドは、濡れた布で拭き取っていく。内側のはみでたものは、そのままにしておくほうがいいと長岡鉄男の本にも書いてあったようなので、見えない部分はそのままにする。
2つの小さな穴が見えているが、ここに外側からターミナルを取り付けて、スピーカーユニットにつなぐケーブルをある程度の長さに切って、はんだ付けしておく。
次にこの4つの部分を1つのキャビネットに組み立てていく。最終的な組み立ての前にターミナルにケーブルをはんだ付けしておかないと、ケーブルをつけることができなくなる。
ターミナルはFostexのP24B。1つ税込み1,071円だった。



†

宮沢賢治の朗読の続きをやろうとしていたが、テレビを見ながらつい眠ってしまった。

23:59:00 - belle - No comments